



運動会、修学旅行、生活科・社会科見学、陸上記録会、音楽発表会、そして、各種の体験活動と、多くの行事が目白押しだった2学期が終わろうとしています。一つ一つの行事を通して、子どもたちは、一回りも二回りも大きく成長したように感じています。子どもたちを温かく見守ってくださった保護者の皆様、地域の皆様、温かいご支援ありがとうございました。これからも、**学校教育重点目標の「七区学区に学ぶ」を大切に、豊かな体験活動を通して「地域を愛する子」を育てていきたい**と考えています。ご支援ご協力ありがとうございました。

地域合同避難訓練



14日(金)、津波を想定した避難訓練を行いました。晴天に恵まれ、多くの地域の方々も参加してくださり、子どもたちも真剣に訓練することができました。いろいろな場合を想定し訓練を重ねることが、いざというときに本当に役に立つと信じています。今回も、**全校児童が灘崎中学校まで実際に避難**しました。1年生にとっては、5キロあまりの道のりはかなりの負担ですが、落ち着いて歩き通すことができました。来年度は、**避難場所での引き渡し等、多様な訓練を実施**したいと思っています。

「天災は忘れた頃にやって来る」といった教訓を忘れかけていたこの夏、突然の「激甚災害」(7月豪雨・西日本豪雨)

に「晴れの国岡山」が通用しないことを痛感させられました。災害での被害を最小限に抑えるためには、日常的に備えておくことが大切です。

自助、共助、公助とは？

○自助 自ら行う！

※自分や家族の命と財産を守るために、自分で家庭での防災に取り組む。
(食料や飲料水等の備蓄、トイレトーパーなど日用品の備蓄、家の耐震化・耐火性の確保、家具やテレビ等の点検等、落下、移動防止 他)

○共助 地域で、みんなで協力して取り組む！

※近所の助け合い、防災・避難訓練、防災活動への参加、高齢者や障害者等の支援。

○公助 行政や公的機関等が取り組む

※情報発信、避難所機能の充実、啓発活動、災害対応。

焼き芋パーティー



19日(水)、地域の方がくださった**すくも**で焼き芋をしました。池原元校長先生や地域の方々に作り方を教えていただき、早朝6時前に火を付けました。すくもの山からは、白い煙がもくもくと立ち上がり、すくも独特のにおいが充満していました。登校してきた児童は、運動場から立ち上る煙にびっくりしていました。すくもが黒焦げの状態になってきたから、2年生が古新聞とアルミホイルで巻いた芋を入れました。12時頃、すくもの山を崩すと、おいしい焼き芋ができあがっていました。**すくもは、くん炭として、畑の土壌改良材として使用**します。

収穫の喜びを みんなで!!



5年生が取り組んでいるお米作り体験の集大成となる「**大飯会**」が、12日(水)に行われました。稲刈りをしたお米を、小林さんが精米してくださり、炊飯器3台で炊きあげました。真っ白でふっくらと炊きあがったご飯を、自分で持ってきたふりかけ、味付けのり、漬け物などをおかず、おいしくいただきました。精米したばかりの新米のおいしさに、家庭科室には「おかわり」の声が続きました。

20人で、一気に5升を食べ切り、子どもたちは笑顔いっぱい、大満足でした。

12日(水)、待ちに待った**ダイコン**を収穫しました。毎日のように、グリーンガーデンに観察に行っていた子どもたちは、この日を心待ちにしていました。例年はない暖かさに、青虫や毛虫などの大量発生がありましたが、子どもたちの丁寧な世話で葉も食べることができた立派なダイコンに育ちました。子どもたちは、ダイコンを大事そうに抱えながら、おでんに、サラダにと、いろいろと考えていました。

来年も がんばるぞ！

